

血液がんサロン

第5回

全体テーマ『治療中・治療後の生活を考える』

(医師や看護師、他の患者さんといろいろな話をしてみましょう)

日時2017年5月13日(土) 14:00~16:15
原三信病院 第1会議室・第8会議室など
(案内図をご参照下さい)

原三信

第Ⅰ部 講演(60分) 第1会議室

1演題目は、開催を始めて2年が経過しました「血液がんサロン」について経過のご報告を、2演題目は、社会福祉士の立場から、治療中・治療後の生活支援についてご紹介します。

3演題目は、患者さんから、急性骨髄性白血病の治療体験について、治療の体験についてご講演いただきます。

1. 「血液がんサロン」の意味を考える

～患者さん・ご家族同士が会うこと～ (15分)

血液内科 医師 上村 智彦

2. 在宅療養の強い味方 ～実際の患者様サポートを通じて～ (25分)

社会福祉士 メディカルソーシャルワーカー (MSW) 城間 夏美

3. 白血病になって現在に至るまでの治療体験

(20分)

患者 久恒 陽二郎

休憩

(15分)

第Ⅱ部 フリーディスカッション(60分)

テーマ：今回は、外来化学療法中、あるいは、入院治療の合間の一次退院や移植後の退院後の生活について、体験を語り合ひましょう

●フリーディスカッション：3グループにわけて

(第1会議室、第8会議室など、3グループにわかれます；場所は当日案内)

医師、看護師、社会福祉士(ソーシャルワーカー)、理学療法士のアドバイス、そして何より、他の患者さんやご家族のお話を聴くことができます！

原三信病院血液内科で治療中または通院中の患者さん、ご家族の方、どなたでも参加いただけます。一緒に病気のこと、治療や生活のことを考えましょう。ご希望の方は、主治医、看護師に申し込み用紙をお渡し下さい。





2017年5月13日（土）
14：00～16：15
原三信病院
第1会議室
ヒノマルビル 4F

第Ⅱ部ではグループごとにわかれます。

第Ⅰ部 講演

①進化する造血幹細胞移植 ～新しいドナー選択・GVHD予防～



血液内科 医師 上村 智彦
造血細胞移植の最近の大きな変化、革新についての講演でした。

移植後大量シクロホスファミド(PTCy)による HLA半合致移植(ハプロ移植)

スライド資料の一部

②進化する多発性骨髄腫の治療



九州大学 別府病院 講師
伊藤 能清
2015年～2017年にかけて、新薬が続々と登場する多発性骨髄腫の治療についての解説でした。



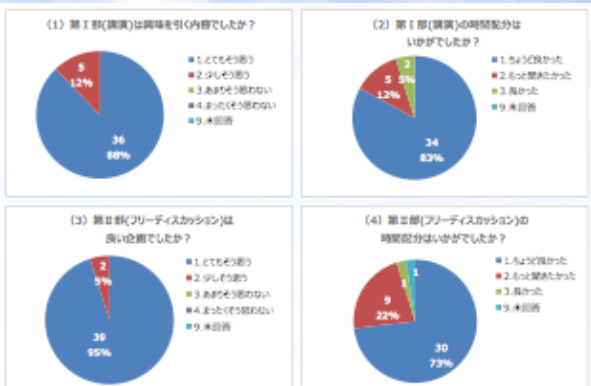
③悪性リンパ腫と向き合って～葛藤の中での治療と克服～
上野 昭雄 さん（患者）



悪性リンパ腫が診断され、再発した折などの心情を、生い立ちにも絡めて、お話しいただきました。リスクのある同種骨髄移植を選択したときの思い、同じ時期に闘病していた患者仲間への思いなど、情景が目につくようで、感動しました。(by 上村)。

前回開催報告

参加者アンケート（41名回答）



第Ⅱ部 フリーディスカッション

Aグループ・Bグループ（第1会議室）：「患者グループ」



Aグループ
進行役 伊藤医師（右）
サポート 青木医師（左）



Bグループ
進行役 浦田医師
サポート 梅野医師

お話をすることで、元気をもらえましたか？

Cグループ（健康管理センター）：「家族グループ」

第3回 血液がんサロンに引き続き、ご家族だけで集まるグループをつくりました。患者さん自身もそうですが、それを支えるご家族も、様々な思いを抱えて頑張っている体験談を共有いただきました。



「血液がんサロン」は、血液内科医療チームの多くのスタッフ、そして患者ボランティアの方々の協力で、2015年春から半年に1回開催しています。前回の第4回は2016/11/5に行い、45組、61名と多数の患者・家族の方に参加いただきました。参加された皆様に、心より御礼申し上げます。 上村